

2012年度 第3四半期 決算概要

-
- I. 2012年度第3四半期 連結業績概要
 - II. 2012年度通期 連結業績予想
 - III. 部門別情報
-

シャープ株式会社
2013年2月1日

【見通しに関する注意事項】

本資料に記載されている内容には、シャープ株式会社及び連結子会社（以下、総称して「シャープ」という）の計画、戦略、業績など将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は過去または現在の事実ではなく、現時点で入手可能な情報から得られたシャープの仮定や判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により、シャープの実際の業績、事業活動、財務状況は、これらの見通しと大きく異なる場合があります。また、新たな情報、将来の事象、その他にかかわらず、シャープが将来の見通しに関する記述を見直すとは限りません。なお、業績など実際の結果に影響を与えるリスク、不確実性及びその他の要因としては、以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- (1) シャープの事業領域を取り巻く経済情勢
- (2) シャープの製品やサービスの需要動向の変化や価格競争の激化
- (3) 為替相場の変動(特に、米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替相場)
- (4) 諸外国における貿易規制等の各種規制
- (5) 他社との提携、アライアンスの推進状況
- (6) シャープに対する訴訟その他法的手続き
- (7) 製品やサービスについての急速な技術革新 など

※本資料の記載金額は、億円未満切り捨て表示としています。

I. 2012年度第3四半期 連結業績概要

SHARP

1

2012年度第3四半期 連結業績概要

売上高は、前期比、前年同期比ともに増加
営業利益が5四半期ぶりに黒字転換

(単位:億円)

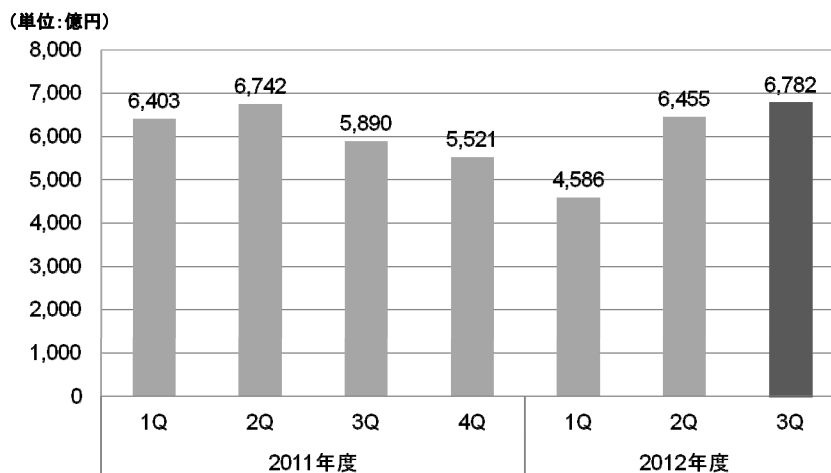
	2011年度	2012年度					
	3Q	1Q	2Q	3Q	前期比	前期比 増減額	前同比
売上高	5,890	4,586	6,455	6,782	105.1%	+327	115.1%
営業利益	-244 (-4.2%)	-941 (-20.5%)	-747 (-11.6%)	26 (0.4%)	-	+774	-
経常利益	-237 (-4.0%)	-1,038 (-22.6%)	-934 (-14.5%)	-18 (-0.3%)	-	+916	-
特別損益	-231	-324	-931	-304	-	+627	-
法人税等 調整額他	-1,267	-21	-625	-45	-	+580	-
当期純利益	-1,736 (-29.5%)	-1,384 (-30.2%)	-2,491 (-38.6%)	-367 (-5.4%)	-	+2,124	-

SHARP

2

四半期別 売上高推移

第1四半期をボトムに、前年度前半のレベルに回復



SHARP

3

部門別売上高(前期比・前年同期比)

液晶を中心とする電子部品部門の伸長により、
 全社売上高は、第2四半期に対し大幅増収

(単位:億円)

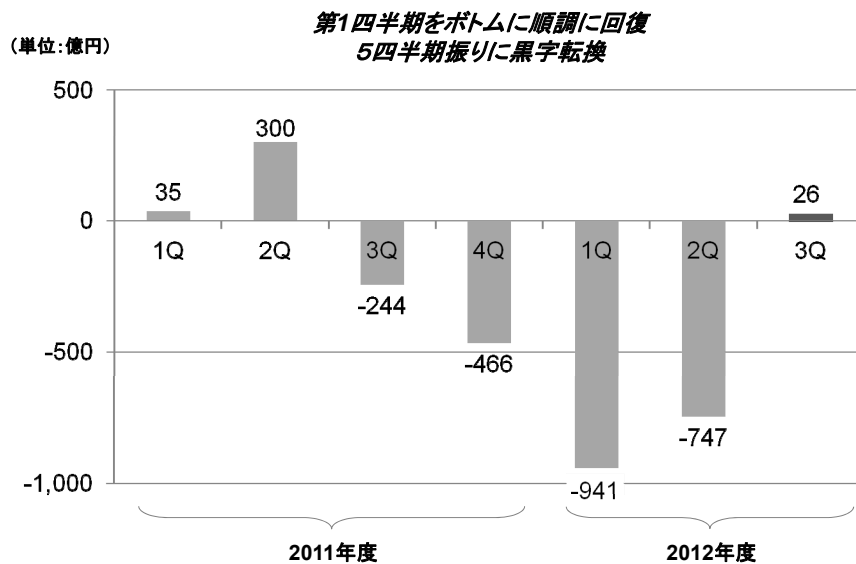
	2011年度		2012年度				
	3Q	1Q	2Q	3Q	前期比	前期比増減額	前同比
AV・通信機器	2,702	1,341	2,044	2,023	99.0%	-20	74.9%
健康・環境機器	727	782	767	748	97.6%	-18	102.9%
情報機器	635	647	744	697	93.7%	-46	109.8%
エレクトロニクス機器	4,065	2,772	3,556	3,469	97.6%	-86	85.4%
液晶	1,731	1,459	2,220	2,582	116.3%	+361	149.1%
太陽電池	489	419	511	559	109.4%	+47	114.4%
その他電子デバイス	598	474	785	814	103.7%	+29	136.1%
電子部品	2,819	2,352	3,517	3,956	112.5%	+439	140.3%
小計	6,884	5,125	7,073	7,426	105.0%	+352	107.9%
調整額	-993	-539	-617	-643	-	-25	-
合計	5,890	4,586	6,455	6,782	105.1%	+327	115.1%

SHARP

※セグメント(エレクトロニクス機器・電子部品)間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

4

四半期別 営業利益推移



SHARP

5

部門別営業利益(前期比、前年同期比)

AV・通信機器とその他電子デバイスが黒字転換
太陽電池、液晶の赤字が大幅に縮小

(単位: 億円)

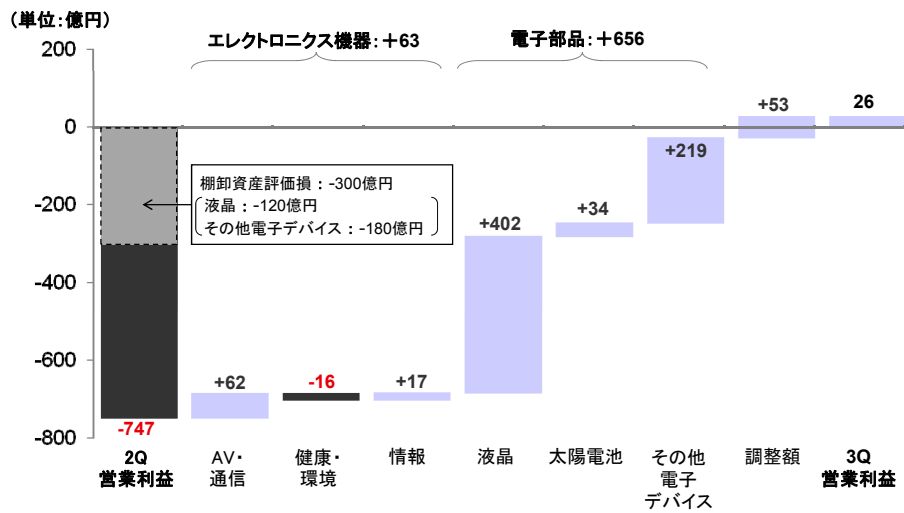
	2011年度		2012年度				
	3Q	1Q	2Q	3Q	前期比	前期比 増減額	前同比
AV・通信機器	-39	-202	-9	53	-	+62	-
健康・環境機器	82	82	90	74	82.2%	-16	91.0%
情報機器	54	23	46	63	136.9%	+17	115.6%
エレクトロニクス機器	97	-96	127	191	149.6%	+63	196.2%
液晶	-208	-634	-520	-117	-	+402	-
太陽電池	-62	-69	-53	-19	-	+34	-
その他電子デバイス	21	-50	-187	31	-	+219	145.5%
電子部品	-248	-754	-761	-104	-	+656	-
小計	-150	-851	-633	86	-	+720	-
調整額	-93	-90	-113	-59	-	+53	-
合計	-244	-941	-747	26	-	+774	-

SHARP

6

部門別 営業利益増減分析(2Q・3Q対比)

上期の構造改革効果による、液晶、その他電子デバイスの改善が
 全社収益改善に大きく寄与

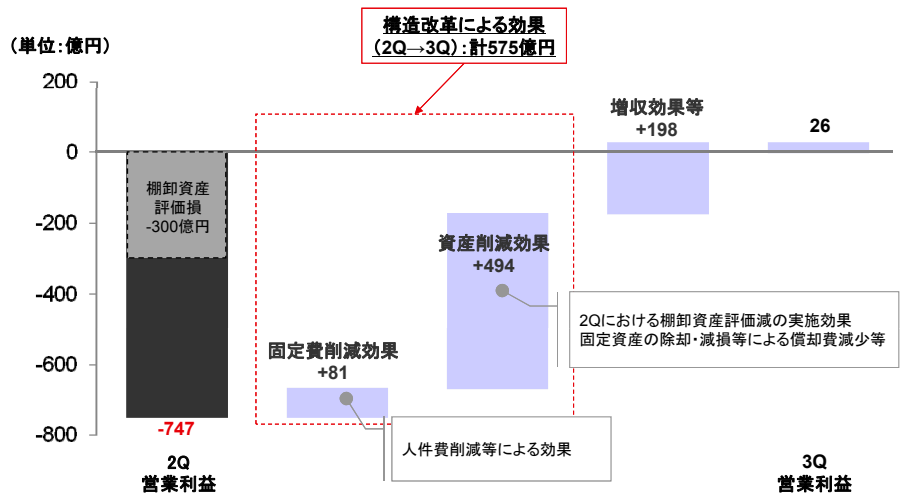


SHARP

7

要因別 営業利益増減分析(2Q・3Q対比)

固定費削減や資産削減の効果が黒字転換に寄与



SHARP

8

営業外損益・特別損益・法人税等の概要

希望退職に伴うリストラ費用を計上(事業構造改革費用)

(単位:億円)

	2011年度		2012年度		
	3Q	1Q	2Q	3Q	前期比 増減額
営業利益	-244	-941	-747	26	+774
営業外損益	6	-96	-187	-44	+142
経常利益	-237	-1,038	-934	-18	+916
特別損益	-231	-324	-931	-304	+627
事業構造改革費用	-83	-142	-844	-273	+570
和解金	-107	-158	0	-20	-20
その他	-40	-23	-87	-10	+77
税前利益	-469	-1,362	-1,866	-322	+1,543
法人税等調整額他	-1,267	-21	-625	-45	+580
繰延税金資産取り崩し	-1,198	0	-610	0	+610
その他	-69	-21	-15	-45	-30
当期純利益	-1,736	-1,384	-2,491	-367	+2,124

(参考)

設備投資	159	377	173	124	-49
減価償却費	610	524	401	396	-5

SHARP

9

連結 貸借対照表推移

CPの減少を短期借入金でカバー

(単位:億円)

	2011年度		2012年度	
	3末実績	9末実績	12末実績	3末実績
現金	1,953	2,211	1,640	
売掛金	3,754	4,105	4,142	
棚卸資産	5,274	3,257	3,399	
その他	3,229	3,016	3,368	
流動資産 計	14,211	12,590	12,551	
有形固定資産	8,724	6,366	6,003	
無形固定資産	760	646	638	
投資その他	2,424	2,590	2,509	
固定資産 計	11,908	9,603	9,152	
資産合計	26,141	22,204	21,712	

	2011年度		2012年度	
	3末実績	9末実績	12末実績	3末実績
買掛金	3,894	3,882	4,075	
短期借入金	2,123	5,112	6,725	
1年内社債	221	2,059	2,056	
CP	3,510	1,675	80	
その他	4,161	3,812	3,497	
流動負債 計	13,910	16,542	16,434	
社債	1,949	1,900	1,900	
転換社債	2,010	0	0	
長期借入金	1,129	994	750	
その他	689	488	446	
固定負債 計	5,779	3,383	3,096	
純資産	6,451	2,279	2,181	
負債純資産合計	26,141	22,204	21,712	

純資産比率	24.7%	10.3%	10.0%
-------	-------	-------	-------

SHARP

10

経営改善対策推進状況

大型液晶事業オフバランス化、在庫の適正化・固定資産圧縮等により、全体では年間目標に対し74%の進捗

(単位:億円)

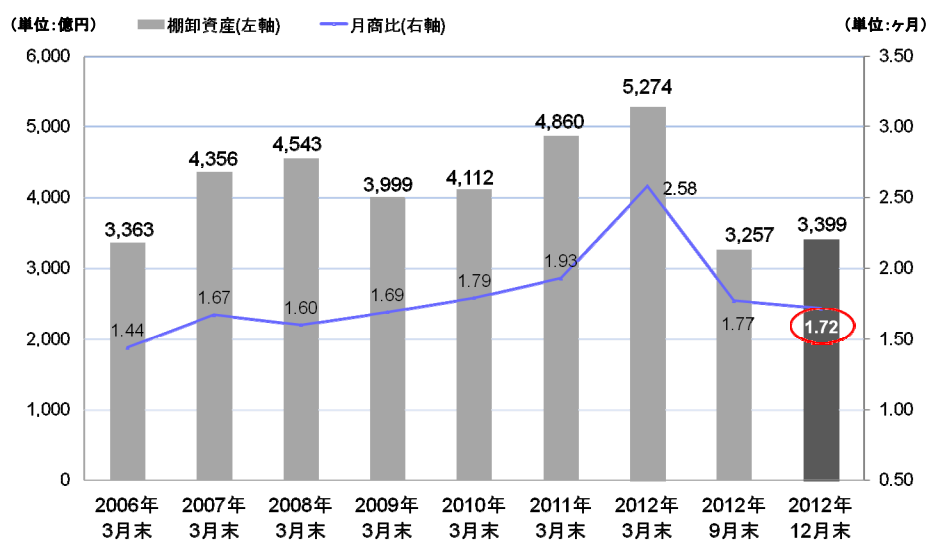
項目	当初公表(8/2)年間目標	第3四半期累計実績	(達成率)	備考
大型液晶事業オフバランス化	1,100	1,100	100%	・SDP株式一部譲渡:660億円 ・オフバランスによる借入減少:440億円
第三者割当増資	669	49	7%	・クアルコムからの出資:49億円 ・鴻海グループとの協議継続 大型液晶等の事業協業は着実に進展
在庫の適正化・固定資産の圧縮	1,500	1,148	77%	・2012年3月末比在庫削減:1,041億円 (在庫評価減適用前の削減実績) ・営業拠点・有価証券売却:108億円
設備投資の圧縮	700	647	92%	・減価償却費(3Q累計):1,322億円 ・設備投資額("): 675億円
合計	4,000	2,944	74%	

SHARP

11

アセットライトの取り組み ~ 棚卸資産の推移 ~

棚卸資産は9月末から増加するも、月商比は改善

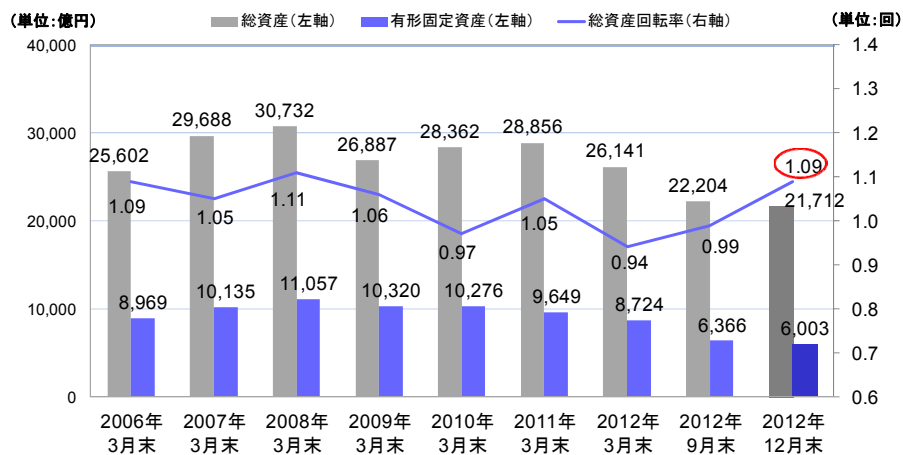


SHARP

12

アセットライトの取り組み ～総資産・有形固定資産～

有形固定資産圧縮等により、
総資産は9月末から、492億円減少

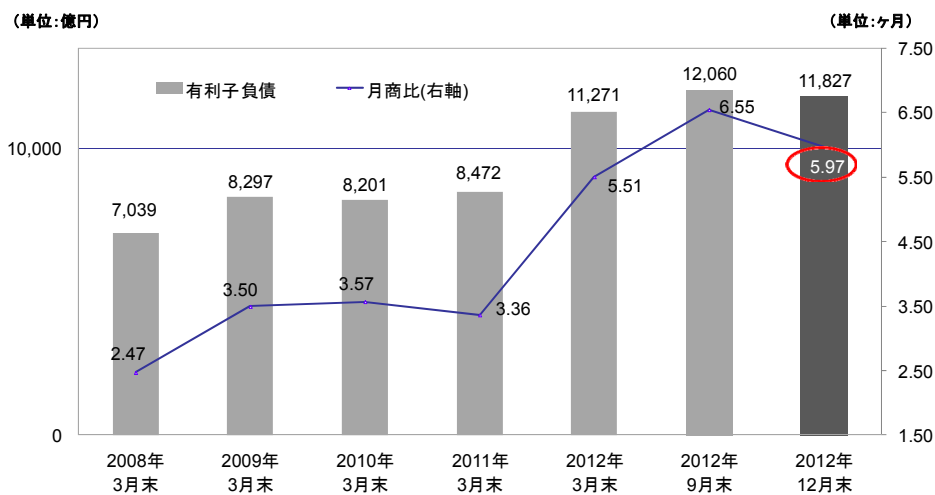


SHARP

13

有利子負債の推移

12月末は、9月末から減少し、月商比も改善



SHARP

14

II. 2012年度通期 連結業績予想

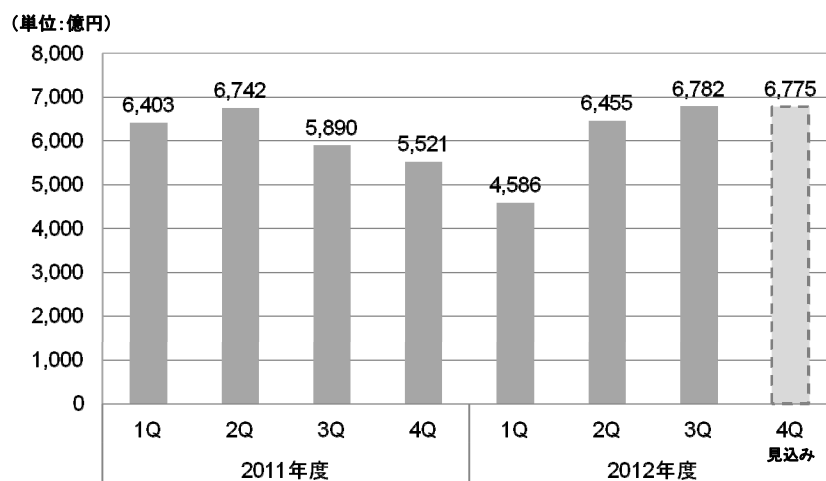
2012年度通期 連結業績予想概要

前回予想を据え置き

(単位:億円)

	2011年度 通期	2012年度 通期	
		今回 予想	前年比
売上高	24,558	24,600	100.2%
営業利益	-375	-1,550	-
経常利益	-654	-2,100	-
特別損益	-1,729	-1,650	-
法人税等 調整額他	-1,376	-750	-
当期純利益	-3,760	-4,500	-
設備投資	1,188	900	75.7%
減価償却費	2,389	1,900	79.5%

四半期別 売上高推移



SHARP

17

2012年度通期 部門別売上高(前年比・前回予想比)

(単位: 億円)

	2011年度 通期	2012年度 通期				2012年度 通期 前回 予想
		今回 予想	前年比	前回予想差異		
				修正額	増減比	
AV・通信機器	10,610	7,400	69.7%	+300	+4.2%	7,100
健康・環境機器	2,923	3,100	106.1%	0	-	3,100
情報機器	2,776	2,900	104.5%	0	-	2,900
エレクトロニクス機器	16,309	13,400	82.2%	+300	+2.3%	13,100
液晶	7,209	8,300	115.1%	-500	-5.7%	8,800
太陽電池	2,239	2,450	109.4%	+150	+6.5%	2,300
その他電子デバイス	2,381	2,750	115.5%	+50	+1.9%	2,700
電子部品	11,830	13,500	114.1%	-300	-2.2%	13,800
小計	28,140	26,900	95.6%	0	-	26,900
調整額	-3,581	-2,300	-	0	-	-2,300
合計	24,558	24,600	100.2%	0	-	24,600

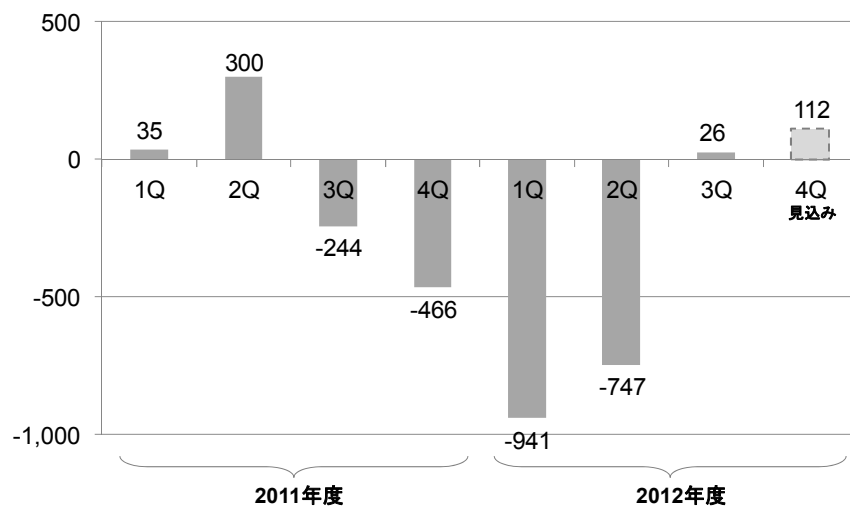
SHARP

※セグメント(エレクトロニクス機器・電子部品)間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

18

四半期別 営業利益推移

(単位:億円)



SHARP

19

2012年度通期 部門別営業利益(前年比・前回予想比)

AV・通信、情報、太陽電池、その他電子デバイスの通期予想を上方修正

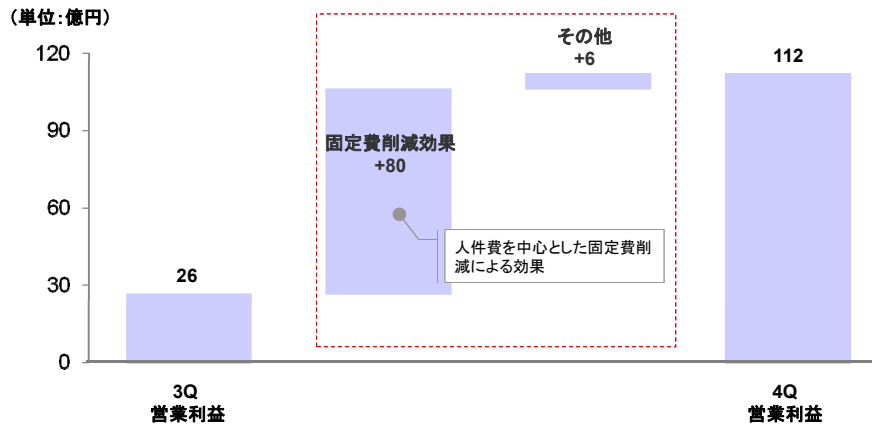
(単位:億円)

	2011年度 通期	2012年度 通期			2012年度 通期 前回 予想
		今回 予想	前年比	前回予想差異 修正額	
AV・通信機器	-61	-80	-	+70	-150
健康・環境機器	294	330	112.0%	0	330
情報機器	277	210	75.7%	+30	180
エレクトロニクス機器	510	460	90.2%	+100	360
液晶	-422	-1,440	-	-120	-1,320
太陽電池	-219	-110	-	+30	-140
その他電子デバイス	95	-170	-	+10	-180
電子部品	-546	-1,720	-	-80	-1,640
小計	-36	-1,260	-	+20	-1,280
調整額	-338	-290	-	-20	-270
合計	-375	-1,550	-	0	-1,550

SHARP

20

要因別 営業利益増減分析(3Q・4Q対比)



コスト構造改革

売上規模に見合った人員体制の構築に向けた人員削減(約5,400人)の他、国内外の生産・販売拠点の体制見直しにより固定費削減を推進

2013年度コスト削減目標(2012年度比:総額1,000億円)に向けた取り組み

本社主導の
固定費削減

- ・人件費：希望退職 2,960名の実施、SDPのオフバランス、自然減等による連結総人員の減少 (2012/12末人員 51,400人:2012/3末比▲5,400人)
- ・減価償却費：設備投資抑制と亀山第2工場の償却費減
- ・その他固定費：業務委託費、広告宣伝費等の削減

+

追加対策

固定費削減
国内外生産・販売
体制の見直し

- ・人件費(給与、賞与引き下げ、各種手当、福利厚生費の見直し)
※2013年9月迄
- ・国内外販売・生産体制見直し(拠点統廃合・人員効率化)

Ⅲ. 部門別情報

AV・通信機器 <合計>

(単位:億円)

	2012年度										年間 前回 予想
	1Q		2Q		3Q		4Q		年間		
	実績	実績	実績	前期比	前同比	今回 予想	前期比	前同比	今回 予想	前年比	
売上高	1,341	2,044	2,023	99.0%	74.9%	1,990	98.4%	94.8%	7,400	69.7%	7,100
営業利益	-202	-9	53	-	-	78	147.7%	-	-80	-	-150

※セグメント(エレクトロニクス機器・電子部品)間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

【第3四半期の実績について】

・液晶テレビにおける国内販売の回復や携帯電話における新商品投入、及び経費削減効果もあり、黒字転換を達成

【年間予想について】

・AV・通信機器全体で、売上高、営業利益ともに前回予想を変更

AV・通信機器 <うち液晶カラーテレビ>

(単位:億円)

	2012年度										年間 前回 予想
	1Q	2Q	3Q			4Q			年間		
	実績	実績	実績	前期比	前同比	今回 予想	前期比	前同比	今回 予想	前年比	
売上高	777	1,080	1,051	97.4%	67.6%	890	84.7%	77.9%	3,800	65.4%	3,700
販売台数 (万台)	167	223	223	100.0%	69.5%	187	83.7%	85.1%	800	65.1%	800

【第3四半期の実績について】

- ・前期比で、国内販売が好調に推移
- ・中国市場での販売減
- ・ASEAN等の新興国での販売は好調に推移

【今後の取り組み】

- ・60型以上モデル(70/80/90型)へのシフトとラインアップ強化
- ・バリューチェーン改革によるコスト競争力強化、新規販売ルート開拓
- ・新興国等、重点地域へのローカルフィット、オリジナルデザインモデルの投入
- ・4Kモデル等の新商品開発の推進

SHARP

25

AV・通信機器 <うち携帯電話>

(単位:億円)

	2012年度										年間 前回 予想
	1Q	2Q	3Q			4Q			年間		
	実績	実績	実績	前期比	前同比	今回 予想	前期比	前同比	今回 予想	前年比	
売上高	292	690	648	93.9%	99.0%	868	133.9%	128.2%	2,500	81.7%	2,400
販売台数 (万台)	78	195	157	80.7%	86.7%	210	133.6%	118.2%	640	83.1%	640

【第3四半期の実績について】

- ・必要部材調達問題の解消
- ・季節要因、新製品投入タイミング等による販売台数減

【今後の取り組み】

- ・国内トップシェアの奪回に向けた新商品ラインアップの拡充
(「高精細」「低消費電力」を特長とした「IGZO液晶」搭載モデルの拡充)

SHARP

26

健康・環境機器

(単位:億円)

	2012年度										年間 前回 予想
	1Q	2Q	3Q			4Q			年間		
	実績	実績	実績	前期比	前同比	今回 予想	前期比	前同比	今回 予想	前年比	
売上高	782	767	748	97.6%	102.9%	801	107.0%	111.6%	3,100	106.1%	3,100
営業利益	82	90	74	82.2%	91.0%	81	109.3%	140.1%	330	112.0%	330

※セグメント(エレクトロニクス機器・電子部品)間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

【第3四半期の実績について】

- ・夏物減少等の季節要因から前期比で減収減益
- ・空気清浄機は前期比で販売が堅調

【今後の取り組み】

- ・小型調理家電や美容家電等の高付加価値な新規カテゴリ商品事業の拡大
- ・ASEAN地域での生産能力増強による事業拡大の推進
- ・BtoBを中心とした新規販売チャンネルの開拓

SHARP

27

情報機器

(単位:億円)

	2012年度										年間 前回 予想
	1Q	2Q	3Q			4Q			年間		
	実績	実績	実績	前期比	前同比	今回 予想	前期比	前同比	今回 予想	前年比	
売上高	647	744	697	93.7%	109.8%	810	116.1%	107.6%	2,900	104.5%	2,900
営業利益	23	46	63	136.9%	115.6%	76	121.6%	112.2%	210	75.7%	180

※セグメント(エレクトロニクス機器・電子部品)間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

【第3四半期の実績について】

- ・企業の設備投資抑制、季節要因による販売減
- ・経費削減及びルート・モデルミックス改善による増益

【今後の取り組み】

- ・先進国での高速機拡大、新興国におけるカラー機シフト
- ・複合機、ディスプレイの連携提案による新規顧客開拓、パッケージ商材でのソリューション提案強化

SHARP

28

液晶

(単位:億円)

	2012年度										年間 前回 予想
	1Q	2Q	3Q			4Q			年間		
	実績	実績	実績	前期比	前同比	今回 予想	前期比	前同比	今回 予想	前年比	
売上高	1,459	2,220	2,582	116.3%	149.1%	2,037	78.9%	147.7%	8,300	115.1%	8,800
営業利益	-634	-520	-117	-	-	-166	-	-	-1,440	-	-1,320

※セグメント(エレクトロニクス機器・電子部品)間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

【第3四半期の実績について】

- ・スマートフォン向け高精細液晶が伸長
- ・大型液晶においては、外販強化、鴻海グループとの協業推進等により高稼働を維持

【今後の取り組み】

- ・TV・モニター向け液晶の増産による亀山第2工場の操業確保
- ・天理・三重工場における高付加価値パネル(高精細・低消費電力)へのシフト
- ・TV用液晶は、需給動向を注視しながら生産・販売・在庫の効率化・適正化を推進
- ・SDPIは、鴻海グループとの提携による安定操業維持

SHARP

29

太陽電池

(単位:億円)

	2012年度										年間 前回 予想
	1Q	2Q	3Q			4Q			年間		
	実績	実績	実績	前期比	前同比	今回 予想	前期比	前同比	今回 予想	前年比	
売上高	419	511	559	109.4%	114.4%	959	171.5%	148.9%	2,450	109.4%	2,300
販売量 (MW)	253	289	274	94.7%	108.0%	484	176.6%	199.9%	1,300	121.1%	1,250
営業利益	-69	-53	-19	-	-	32	-	-	-110	-	-140

※セグメント(エレクトロニクス機器・電子部品)間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

【第3四半期の実績について】

- ・国内市場において、住宅用やメガソーラー向け等の産業用が伸長
- ・資産削減効果、固定費削減効果により損益改善

【今後の取り組み】

- ・国内市場への経営資源集中による収益力の向上
 - 住宅用・産業用の商品ラインアップ拡充
 - 設計・営業の強化によるメガソーラー案件確保
 - パワコン、蓄電池、HEMS等周辺機器を組み合わせたソリューション展開の推進
- ・欧米市場向け事業や薄膜事業の縮小等、構造改革の推進を加速化

SHARP

30

その他電子デバイス

(単位:億円)

	2012年度										年間 前回 予想
	1Q	2Q	3Q			4Q			年間		
	実績	実績	実績	前期比	前同比	今回 予想	前期比	前同比	今回 予想	前年比	
売上高	474	785	814	103.7%	136.1%	675	82.9%	107.4%	2,750	115.5%	2,700
営業利益	-50	-187	31	-	-145.5%	35	112.7%	249.9%	-170	-	-180

※セグメント(エレクトロニクス機器・電子部品)間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

【第3四半期の実績について】

- ・モバイル機器向けカメラモジュールの販売が好調に推移
- ・資産削減効果、固定費削減効果が黒字化に寄与

【今後の取り組み】

- ・モバイル機器以外に監視(セキュリティ)・車載・医療分野へのセンシングデバイスの販売強化
- ・LED等ライティングデバイスの販売強化
- ・経費削減・原価低減等 コスト構造改革の推進

SHARP

31

SHARP

32